

0歳児

0歳児

行事	○誕生会 ○避難訓練	クワソのようす	1名入園(担任+フリー) それぞれが好きなあそびを見つけながら、かかわる姿も少し見られるようになってきた。	(養護・ねらい・教育)	○新入園児も含め、個々の状態に合わせて生活リズムを整えていく。 ○沐浴や水あそびで、さまざまな感触を楽しむ。 ○ゆったりした雰囲気なかで、わらべうたを歌ったり、ふれあいあそびを楽しんだりする。
----	---------------	---------	--	-------------	--

保育者のかかわり

○育てたい内容 △保育者のかかわり

○ミルクを飲んだり、離乳食を食べたりして、安心して入眠する。
△一人ひとりが気持ちよく食べ、眠れるように、個別の体調や生活リズムを把握し、ゆったりと声をかけたり、まなざしを向けたりしてかかわっていく。

○水の感触を味わい、関心をもつ。
△水あそびでは、5分くらいから始め、子どものペースを見ながらだんだんと時間を延ばしていく。また興味や発達に合った玩具を準備し、子どもの気持ちが動いたり、楽しさに気づいたりしたときのサインにこたえ、「びっくりしたね」「気持ちいいね」など、ことばをそそいでいく。

○育てたい内容と

週間

1・2週 3週 4週 5週

気温に応じて水あそび

新入園児初登園 出合いの保育

QRコード: 「ふんわりこ」: オリジナルのふれあいあそび (2次元コードから動画をご覧いただけます)

	子どもの姿	子どもの育ち(ねらい・内容)	保育者のかかわり(環境・かかわり・配慮)	反省・評価
A児 (7か月)	○あまりかかわりのない保育者を見ると泣き、特定の保育者に抱っこを求め、肩にピタッと頭をのせ、再度保育者を見る。 ○近くの玩具に手を伸ばし、ギュッと握ってひきよせ、口に入れてあそぶ。	○一緒に過ごす特定の保育者を安心基地と感じ、少しずつまわりに目を向けたり、興味のある玩具を見つけてあそんだりする。 ○興味のある玩具を見つけ、自ら手を伸ばしたり、取りに行こうとしたりする。	○不安そうときは、「先生いるよ～」とやさしくことばをかけながらそばについたり抱いたりすることで、安心して過ごせるようにする。 ○手を伸ばすと届く位置に興味を示しているパッチンボード等を置き、「取りたい」「取れた」と興味をもってあそべるようにし、「楽しいね」「取れたね」と、嬉しさに共感して繰り返してあそべるようにする。	○あそんでみたいと思える玩具の位置やはたらきかけを大事にすると、足をバタバタ動かし手を伸ばし玩具をつまんだり引っ張ったりしてあそんで、保育者を見てにっこりほほ笑む姿があった。 ○来月も、何度も繰り返してあそびたいと思えるようにはたらきかけたい。
B児 (11か月)	○他児のあそぶようすをじっと見つめて声を出して笑ったり、ハイハイで他児の近くまで行ったり、少し離れた所から他児に手を伸ばしたりする。 ○他クラスが人工芝で水あそびをするようすをニコニコ笑って見るが、人工芝におろされると泣き出す。	○他児や他児の持つ玩具に興味をもち、まねをしたり笑いかけていたりして、かかわることを楽しむ。 ○専用のたらいに入ったり、ビニールシートの上に座って、水に触れて感触を楽しんだりする。	○「○○ちゃんと一緒に、嬉しいね」「どうぞ」「ありがとう、やね」などB児の思いを肯定的なことばと動作にしながら共感していく。 ○B児専用のたらいやビニールシートを用意して、人工芝の感触を和らげて安心できる環境を整える。B児のようすや気候に合わせて、ぬるま湯あそびから始め、少しずつ感触や温度に慣れていけるようにする。	○他児への興味に対して、一つひとつ「○○だね」等ことばと動作でこたえていくことで、笑顔でうなずいたり、思いに共感する姿が見られるようになってきた。また、他児のあとを追ったり、いないいないばあをしたり、B児から積極的にかかわりを求めるようになってきた。今後も、他児とかかわる楽しさに共感していきたい。
C児 (1歳2か月)	○ビニールプールの水をカップですくい、プールの外にジャーと流しては、そのようすを見ている。 ○抱っこなどの安心感のなかで寝ていたが、少しずつふとんでも寝られるようになり、深い眠りになるとうつ伏せになる。	○水の冷たさを感じたり、水が流れて変化するようすに興味をもち、水あそびを楽しむ。 ○生理的に満たされ、保育者にやさしく触れてもらいながら安心して入眠する。	○サンシェードを設置し、保育者はいつでもからだを支えられる位置であそびを見守り、水が形を変える面白さに共感する。 ○落ち着いた雰囲気なかで、C児が寝入りやすい向きや寝方を把握し、やさしくからだをトントンしたり、撫でたりしながら、より安心して眠れるようにしていく。	○入眠時はあおむけで寝られるが、途中で自らうつ伏せになるうとするので、睡眠を妨げないように側臥位にするなど姿勢を変えている。あおむけの姿勢でも安心して眠れるように手だてを工夫していく。

安全への配慮	○熱中症には十分注意し、水分補給はこまめに行う(30分に1回を目安とする)。また室温が適温に保たれるように配慮する。 ○水あそびは安全面に配慮し、気温に合わせて水温を調整する。また、子どもの体調にもしっかり留意する。	職員間の連携	○水あそびでは安全に留意し、流れ(動線・保育者のつき添い方など)を確認し合い、そのつどふりかえりも行って、より子どもたちが楽しめるように連携をしていく。 ○新入園児は、特定の保育者がいていいいに対応できるよう連携する。また食事の進み方などは調理担当者とも情報共有しておく。
--------	---	--------	---

保育の展開

月齢に合わせてビニールシートやたらい、ビニールプールを使い分ける。またスポンジやペットボトルシャワーを用意し、あそびを広げる。

②【環境】

月齢の低い子ども用 手作りプール
風呂マットを敷いて周囲を紙バックで囲み、上にブルーシートをかぶせています。

ぬれてもよいように、パッチンボードにはビニールを貼っています。

「気持ちいいね」「すっきりしたね」など子どもの表情に応じて共感する。

転倒の危険がないように見守る。

水あそび 気持ちいいな

ウォーターベッド (圧縮袋に水を入れた物) 楽しいな

口に入れないか見守る

これは何かな (寒天あそび) <赤・青・黄・透明>

パッチンボード 面白いな

子どもが取りたいな、触りたいなと思える所に置いておく。

触ると 気持ちいいな

一緒に触りながら、「ムニムニ」などことばをかけて楽しむ。

いろいろな感触 楽しいな

形が変わっていくのが 面白いな

スプーンやカップなども用意し、あそびを広げ変化を楽しむ。ようすを見ている子どもには、間接的に触れる物(ビニール・ラップ)を用意する。

③【人間関係】 ④【表現】

3つの視点

- ① 健やかに伸び伸びと育つ
- ② 身近な人と気持ちが通じ合う
- ③ 身近なものに関わり感性が育つ

5領域

- 【健康】
- 【人間関係】
- 【環境】
- 【言葉】
- 【表現】

子どもの姿 1週め記入

保育者のかかわり 1週め記入

子どもの姿 4週め追記

子育て支援 家庭との連携

○園生活での初めての夏となる。食欲が落ちたり、睡眠不足など生活リズムも崩れがちになるので、家庭でのようすを共有し体調に気をつけていく。また、夏にはやりやすい病気や朝の授乳・朝食の大切さについても手紙で知らせていく。
○水あそびが始まり、事前に、水の中でのあそびは体力を消耗することや、無理なくあそんでいきたいことを伝え、毎日のチェック表(検温、水あそびの可否【○/×/シャワーのみ】など)に記入してもらおう。子どものようすについては、送迎時、帳面、ドキュメンテーションなどで伝えていく。

ふりかえり

○1回寝に移行しつつあった子どもも、暑さのためか、睡眠がしっかりとれないまま登園することもあった。その日の状況に合わせて、朝寝をし、水あそびを行った。子どもの状況に合わせて朝寝→水あそび→着替え→食事の流れが慌ただしくもなり、ふりかえりを行うなかで、場所と流れの見直しも行った。一人ひとりの子どもが気持ちよく過ごせるように見ていく。
○途中入園の子どもについては、担任がつき、フリーの先生にフォローに入ってもらった。人見知りが始まっている子どももいたが、担任が安心感を与えられるように不安のまなざしにこたえていく。